

《建学の精神》

プロテスタントのキリスト教精神による女子の人間教育を行う。聖書こそ人間を創る真実の教えであると信じ、十字架に連なる「愛と誠」の教育に全力を尽くす。この目的のために、教える者も教えられる者も、主による「感謝・信頼・希望」を重んじる。

《校訓「愛と誠」》

「愛と誠」は生きる力の基であるイエス・キリストの教えである。いつも感謝をささげ、神様に信頼をおき、絶えず希望を持つことにより、生きる喜びが与えられる。

《育成したい生徒像》

神様と人に愛されている存在として、自己受容力を高め、多角的かつグローバルな視野をもち、社会貢献を果たすことのできる生徒

学校ルーブリック 2023	具体的な取り組み	評価
自らを知る 自らを振り返ることができる 自らを大切にすることができる 自ら行動する 何事にもチャレンジすることができる 自らを律し、コントロールすることができる 隣人を知る 多様性を尊重することができる 対話することができる 隣人を愛する 他者と協働することができる 他者に手を差し伸べることができる 世の中を知る 何事にも興味・関心を持つことができる 情報を整理することができる 世の中に働きかける 「当たり前」を疑うことができる 改善策を考えることができる	キリスト教教育 ◆教職員のキリスト教理解のための研修を実施する。 ◆礼拝の中で生徒が語る機会を積極的に設ける。 学習進路 ◆ESD タイムの新カリキュラムを実践し、探究活動を充実させる。 ◆土曜教養講座に生徒や保護者が参加しやすいように工夫する。 ◆ICT 端末を有効利用した授業展開を充実させる。 ◆図書を充実し、利用者の拡大を図り、学習活動に有効利用する。 共生教育 ◆いじめ予防教育、マナー・モラルに関わる講話を複数回実施する。 ◆内外関係機関と連携し、授業のユニバーサルデザインの実践に励む。 ◆防災対策・防犯対策・通学路指導等の徹底を図る。 ◆学校内の感染予防に努め生徒の安全を守る。感染状況に応じた臨機応変な学習支援体制を整える。	◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D

学校教育環境目標	具体的な目標	具体的な取り組み	評価
1 施設や設備の点検・改修を進め、さらなる生活・学習環境の充実を目指す。	○生徒に、より安全な教育環境・生活環境を提供する。 ○地震等に備えた防災体制の整備・防災備蓄品の盤石化を図る。	◆新型コロナウイルス対策を継続して行う。 ◆職員室、教室、その他校内の大掃除をし、落ち着いた教育環境をつくる。 ◆校舎その他施設設備について消耗度・耐用年数などを勘案し、計画的に対応する。	◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D
2 教職員の能力の伸長を支援するための環境作りを推進する。潤いのある職場環境づくりを目指す。	○全教員の授業公開を必須とし、授業の充実を図る。 ○初任者研修及び校内研修を充実させる。 ○教職員の健康維持・促進に努め、余裕ある教育活動の実践を目指す。	◆問題解決型の授業を構築し公開する。 ◆教科・委員会等は広い分野にわたる書籍・雑誌等の充実を努める。 ◆防犯、救急体制の訓練を実施する。 ◆年間休日の確保に努め、研修日を活用し教養を高める。	◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D ◀ A・B・C・D

<p>3 PTAや後援会・同窓会、地域等への情報発信に努め、連携を進める。</p>	<p>○保護者・卒業生・地域とともにある学校として、多様な連携の強化を図る。 ○講演会・公開講座等を充実する。</p>	<p>◆情報発信を整備し、わかりやすく発信する。 ◆保護者向けの教育講演会を開催する。 ◆土曜教養講座を現代社会情勢の発信の場とする。</p>	<p>◀ A ・ B ・ C ・ D ◀ A ・ B ・ C ・ D ◀ A ・ B ・ C ・ D</p>
--	---	---	--